



音楽発表会では、ゲストに本校の先輩でもある作曲家下田和輝さん(住吉町)がいらして、音楽に楽しさについて話してくださいました。

# 子ども達の中に見つけた“上品さ”

やわらかくて、

## 他を受け入れる ゆとみある「心の構え」

10月20日(木)に、「洋野町小・中学校音楽発表会」が行われました。コロナの影響で、去年も一昨年もできなかった発表会です。6年生は3年生のときに出たきりで4年生のときは出られませんでした。5年生は一度も出ていません。今回は、ステージに上がる人数を制限するというコロナ対策をしての開催で4年生だけで参加しました。

子ども達は、白っぽい服にそろえてセシリアホールに入りました。子ども達に遅れてホールに入り、行儀よく座っている子ども達に「座っている感じが上品ですねー。」と声をかけると「いやー。それほどでもー！」という表情。

音楽会に似合って“上品”な雰囲気が漂います。

発表会が始まって、子ども達は、他の学校の発表も「うわー、上手だなあ。」という顔で聞いています。「こんな歌があるんだ！」とか「他の学校の人たちも、同じようにがんばってきたんだろうな。」そんなことを感じている様子。

そして、発表の後半には、中学生の発表がありました。中野中と種市中。子ども達が目を丸く見開いて見えています。「すごーい!!!」「レベルが違う！」そんな感じです。

こんな風に、他校の発表を「いいなあ」と感心する気持ちで聴くこと、「すごいなあ」とよいものを逃さず気がつくこと。子ども達は、とっても大切なものを身につけている



と感心しました。よいと

ころに気がつき、その場の時間を楽しむことができること、このようなやわらかく人を受け入れるゆとりある「心の構え」にも、服装やかっこうだけでない、“上品さ”を感じたのでした。このような「心の構え」を大切にもっていてほしいと感じました。



息継ぎ、口の開き、目の向き、みんなで気をつけて、歌いました。「やっぱり、音楽はつくるものなんだな」と感じました。

子ども達が思わず乗り出して見つめるその先には、中学生。みなさん、中学生はすごいです！

### こんな中学生になれ！

スローガン

# 「**団結し やい切る心 最後まで**」

～**協力して学習発表会を成功させよう**～

学習発表会の取り組みは行われています。劇や音楽の練習が盛んになってきました。自分達でバック絵や大道具をつくっている学年もあります。練習の始めや終わりをリーダーが進めていたり、練習の成果を反省し合ったりしながら、完成をめざします。

## 学年の動き ～学年朝会～

学習発表会の練習と並行して、**学年朝会**が行われています。2クラスある2・4・6年生では、学年のリーダーが進め、リーダーからお知らせや提案があったり、みんなから伝えたいことを話したり、生活で直した方がよいところを出し合ったりします。自分達で自分達の生活をよりよくします。

学習発表会の取り組みと同様に、“**学年の力**”を高めます。

音楽室などの特別教室で、

実験的にですが

## オンライン中継を行います。

お便りでもお伝えしましたが、オンライン中継を行うことにしました。

自分のお子さん以外の学年の発表も見たいと思っておられると考えましたし、学校としてもそれは、ありがたいことです。以前のように全部見ていただくことはまだむずかしいですが、限られた場所ながら中継を行います。

○3密を避けるために、人数に限りがありますので、

- ・特にご覧になりたい学年の発表を選んで
- ・譲り合ってご覧ください。

※特に、場所を学年ごとに割り当てるなどは行いません。あくまで、おうちの方どうして、状況 に応じて譲り合ってください。

○校内で試してみましたが、聞き取りにくいことや画像が見にくいこともあるようです。

⇒そのことをご了解のうえ、よかったらご利用ください。

## 環境整備作業をありがとうございました。

～ひとり前に働く子ども達にも感謝～

23日(日)に、PTA役員さんと環境整備部の方々、そして職員で環境整備作業を行いました。当日は、高校の文化祭があったりスポーツ少年団の試合があったりと、お忙しいところでしたが集まってくださいました。ありがとうございました。

また、子ども達も連れてきてくださいました。ひとり前に働く子ども達のことも偉いと感じましたし、連れてきて働くチャンスにして下さったことにも感謝です。

ありがとうございました。

